

こどもの

おたふく風邪ワクチン・インフルエンザワクチン費用助成に関する請願

【紹介議員】

甲村亨
鈴木礼子
守谷祐志
鈴木俊祐

請願第 7 号



盛岡市議会 議長 天沼 久純 様

こどもの

おたふく風邪ワクチン・インフルエンザワクチン費用助成に関する請願

【請願趣旨】

おたふく風邪はムンプスウイルスの感染によっておこり、様々な合併症を併発し後遺症を残すことがあります。ムンプスウイルスは広く全身の臓器に感染し、中でも唾液腺・脾臓・睾丸等の腺組織や、髄膜・内耳等の中樞神経系に感染を生じやすいと言われています。

ムンプスウイルスが内耳に感染しておこるムンプス難聴の発生頻度は、200~400人のムンプス患者に対して1人と報告されていて、決して低くはありません。日本耳鼻咽喉科学会は2015年からの2年間に、少なくとも336人が「ムンプス難聴」を発症し、そのうち14人が両側の高度難聴だったと発表しました。

ムンプスはワクチンで防ぎ得る病気ですが、罹ってしまったムンプスに対する特効薬はありません。引き起こされたムンプス難聴にも有効な治療法はありません。

おたふく風邪は、5~6年ごとに大規模な流行が繰り返されているのが現状です。おたふく風邪ワクチンは任意接種で、予防接種率が30-40%と低迷しています。早急に定期接種化すること、それまでは自治体でワクチン接種助成を実施することで接種率を高く維持し大流行が起こることを防ぐことが可能になります。近隣自治体では矢巾町、紫波町はすでに一部助成しています。

インフルエンザワクチンについては、盛岡市独自の助成制度として、中学生まで1回につき2,000円と拡充されましたが、まだ十分といえる状況ではありません。

以前から子育て世代・孫育て世代からは、おたふくかぜワクチン、インフルエンザワクチン助成について強い要望がありますが、世界的にみて日本はワクチン後進国になっています。子どもの健康を守るため、以下について要望します。

【請願項目】

1. おたふく風邪予防ワクチンに対して市として早急に助成を行ってください。
2. おたふく風邪予防ワクチン定期接種化の早期実現を国に働きかけて下さい。
3. インフルエンザ予防ワクチンへの助成をさらに増額してください。
4. インフルエンザ予防ワクチンの助成対象年齢を18歳まで拡大してください。

令和1年6月17日

盛岡市本町通 1-10-35

新日本婦人の会盛岡

支部長 三田村

